



VOICE

読者のページ

2023年11月号(51巻11号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

不規則抗体同定アップデート —『赤血球型検査(赤血球系検査) ガイドライン(改訂4版)』をふまえて

- 順を追った解説でとてもわかりやすく、「やってみよう! 不規則抗体同定」で知識の定着も図ることができました。少しわからない点は輸血検査担当の友人に質問して確認しました。 **コウベノサウナー (兵庫県)**
- 抗CD38抗体治療薬使用時の輸血検査に関して、とても勉強になりました。今後もパネルを提示したケーススタディの特集を期待しています。 **MT (京都府)**
- 現在は輸血検査から離れており、手技ももう覚えですが、わかりやすい説明で良かったです。不規則抗体同定には苦手意識がありましたが、解説を読みながら実際にあたったところ、理解できました。 **AT (沖縄県)**

基礎講座

高度の膿尿における尿沈渣成分の報告

- 膿尿は白血球だけでなく塩類の場合もあること、観察困難な際の工夫として滴下量を半量にすることははじめて知りました。実務に取り入れます。 **KN (山口県)**
- 高度膿尿は日常でよく遭遇します。紹介されていたコメント例を参考に、臨床側により充実した報告を返せるように心がけたいと思いました。 **HH (兵庫県)**
- 安易に検査不可にせず、参考値でも結果は出すべきだと思いました。 **k (福岡県)**
- 高度膿尿は細胞診でも鏡検が困難なことがあり、「一般検査ではどう報告されているのか?」と疑問に思っていました。とても勉強になりました。 **MT (京都府)**

話題—NEWS&TOPICS

小児採血では、わかりやすく簡潔な 理由の説明が重要

- 小児採血は難しく、医師や看護師の助けを借りることもしばしばで、行う技師も不安が大きいものです。麻酔パッチを使うとは考えてもみなかったのが、とても参考になりました。 **ジュンジュン (神奈川県)**
- 小児には説明してもわからないだろう、じっとしててくれればいいと考えていました。今後はわかりやすく説明をしようと思います。 **MT (愛知県)**
- 自院は小児よりも高齢者の比率が高く、認知症患者の採血は対応に苦慮することも多いです。記事で説明の大切さを再認識しました。イラスト付きの説明を早速実践したいと思います。 **HH (兵庫県)**

技術講座

粘液の組織化学

- 粘液の染め分けなどを整理していただき、わかりやすかったです。 **Y.K.(岡山県)**
- 専門性の高い内容でしたが、「そういえば粘液ってなんだろう?」という素朴な疑問に答えていただき、知識の更新と向上につながりました。 **コウベノサウナー (兵庫県)**
- ムチンはDVT(深部静脈血栓症)と関係があると聞いたことがあります。この点についても、もう少し知りたいと思いました。 **SK (茨城県)**

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはwebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています!

